



大阪文化万博 Osaka Fringe 2026

Spill Over — 文化芸術が街にあふれだす

PRESS RELEASE

2026年9月30日
大阪観光局 記者発表資料

OPEN ACCESS FESTIVAL

OSAKA CITYWIDE ARTS PLATFORM

大阪の街そのものが、舞台になる。

「大阪文化万博 Osaka Fringe 2026」10月8日開幕 100組以上のアーティストと50会場以上が参加

劇場、商業施設、歴史的建築、カフェ、地域施設などを舞台に、文化芸術が街へあふれ出す
約1か月の都市型フェスティバル

大阪文化万博 **Osaka Fringe 2026** は、2026年10月8日（木）から11月8日（日）までの約1か月間、大阪市内および大阪府内各地で開催される都市型文化芸術フェスティバルです。

演劇、ダンス、音楽、大道芸、パフォーマンス、伝統芸能、現代美術、展示、ワークショップなど、**100組以上のアーティスト・団体**と、劇場、商業施設、歴史的建築、カフェ、ギャラリー、地域施設など**50会場以上**をつなぎ、「大阪の街そのものを舞台にする」新しい文化芸術のプラットフォームを実装します。

Spill Over — 文化芸術が街にあふれだす —

Osaka Fringe 2026は、一つの劇場やホールの中で完結するフェスティバルではありません。アーティスト、会場、観客、地域、企業が都市の中で出会い、回遊し、つながることで、大阪の日常そのものに新しい文化景観を生み出します。

100+

ARTISTS / GROUPS

ジャンルを超えて参加する多彩な表現者

50+

VENUES / SPACES

劇場だけでなく、街の多様な空間が舞台に

32

FESTIVAL DAYS

2026年10月8日（木）～11月8日（日）

Osaka Fringe 2026の主な特徴

1. 大阪の街そのものを舞台にする都市型フェスティバル

Osaka Fringeは、専用の巨大会場を新設するのではなく、大阪に既に存在する多様な場所を文化芸術の

舞台へと開きます。劇場だけでなく、広場、商業施設、歴史的建築、カフェ、地域施設などが公演・展示・交流の場となり、文化芸術と街の風景を結び直します。

2. オープンアクセス型の文化芸術プラットフォーム

「フリンジ（Fringe）」の精神は、誰もが参加できる開かれた舞台にあります。Osaka Fringe 2026では、ジャンル、国籍、キャリアを問わず、多様なアーティストが参加し、それぞれの作品が大阪の各地へ広がります。

3. 観客が街を巡り、作品と出会う回遊型体験

観客は一つの会場へ行って帰るだけではなく、作品をきっかけにエリアを移動し、別の表現や場所と出会います。文化芸術を入口に、交通、飲食、商業、観光、街歩きが自然につながることも、Osaka Fringeの大きな価値です。

4. OSAKA FRINGE AWARDSによる発見と発信

Osaka Fringe 2026では、**OSAKA FRINGE AWARDS**を実施します。単なる順位付けではなく、まだ十分に知られていない作品、新しい才能、大阪から外へ発信すべき表現を発見し、言葉にし、社会へ紹介し、次の公演・招聘・国際展開へ接続していくことを目指します。

5. 大阪から日本・アジア・世界へ

Osaka Fringeは、大阪で開催して終わるフェスティバルではありません。国内外のフェスティバル、劇場、プロデューサー、文化関係者との接点を育て、大阪で発見された作品や才能を外へ送り出す流通の起点となることを目指します。

事務局メッセージ

Osaka Fringe 2026が目指しているのは、単発の大型イベントを増やすことではなく、大阪という都市の中に、作品、人、会場、観客、地域、企業が継続的につながる仕組みをつくることです。文化芸術が劇場の中だけにとどまらず、街へあふれ出し、日常の風景そのものを変えていく。その最初の本格的な実践が、2026年のOsaka Fringeです。

開催概要

名称	大阪文化万博 Osaka Fringe 2026
テーマ	Spill Over — 文化芸術が街にあふれだす
開催期間	2026年10月8日（木）～11月8日（日）
開催エリア	大阪市内および大阪府内各地
参加規模	100組以上のアーティスト・団体
会場規模	50会場以上
ジャンル	演劇／ダンス／音楽／大道芸／パフォーマンス／伝統芸能／現代美術／展示／ワークショップ ほか

主な価値	アーティストと会場のマッチング、街の回遊創出、才能発見、地域連携、国内外への発信
主催	大阪文化フリンジ機構（設立準備室）
記者発表	2026年9月30日 大阪観光局にて実施

メディアの皆様へ

Osaka Fringe 2026では、開催期間中の公演取材だけでなく、以下のテーマでも取材対応が可能です。

- なぜ今、大阪でFringeを立ち上げるのか
- 作品と会場をどのようにマッチングしているのか
- 劇場以外の空間が文化芸術の舞台になる過程
- OSAKA FRINGE AWARDSによる才能発見と発信
- Festival Cityとしての大阪の可能性
- 国内外の文化関係者・フェスティバルとの接続

報道関係お問い合わせ

大阪文化万博 Osaka Fringe 2026 事務局

大阪文化フリンジ機構（設立準備室）

E-mail：info@osakafringe.com

Web：https://osakafringe.com/

※参加団体数・会場数・プログラム内容等は2026年9月30日時点の情報です。今後、公式サイト等で順次更新します。



公式サイト
QR

本プレスリリースは、2026年9月30日の大阪観光局での記者発表に合わせて作成した報道関係者向け資料です。

OCT 8 – NOV 8, 2026

大阪文化万博

osaka fringe

開幕直前情報

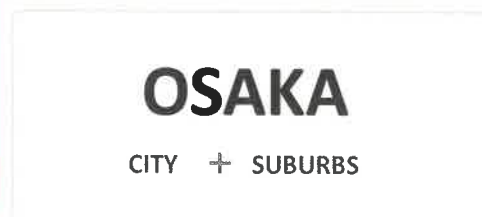
Spill Over
文化芸術が街にあふれだす

2026.10.8 THU → 11.8 SUN

WHAT

街そのものを、文化芸術の舞台にする。

一つの劇場に集めるのではなく、アーティスト・会場・観客・地域・企業を大阪の街でつなぐ、約1か月の文化芸術フェスティバル。



WHEN × WHAT

10/8から11/8まで。毎日、選べる出合いが変わる。

2026

10.8

THU



11.8

SUN

演劇

ダンス

音楽

大道芸

パフォーマンス

伝統芸能

現代美術

展示

ワークショップ



WHERE

大阪の複数エリアが、同時に舞台になる。



主要展開エリア（概略）

UMEDA

グランフロント大阪 北館1F ナレッジプラザ

TENNOJI / ABENO

あべのハルカス近鉄本店・Hoop・天王寺ミオ

NAMBA / HORIE

なんば広場（調整中）・The Absinthe Underground

NAKANOSHIMA / KAWAGUCHI

川口基督教会ほか

SAKAI / TON DABAYASHI

小谷城郷土館ほか

※ 最新会場リストに登録・調整中の実会場から抜粋

PLACES

「大阪にすでにある場所」が、文化芸術の場所へ。



グランフロント大阪
ナレッジプラザ



川口基督教会



青山ビル



The Absinthe Underground



天王寺ミオ
ミオガーデンテラス



Hoop 1階円形ステージ

商業施設 | 歴史的建築 | ライブバー | テラス | 街なかステージ | 地域空間